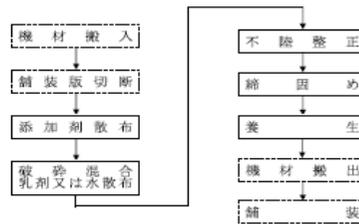
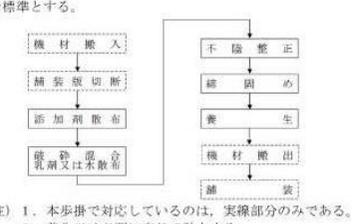


河川・道路編 修正箇所

修正内容	土木工事標準積算基準書	千葉県																																																																				
<p>IV-3-⑤-1</p> <p>路上路盤再生工</p> <p>記載の追加</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、スタビライザによる路上混合作業の路上路盤再生工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) スタビライザによる混合深さ40cm以下の場合 (2) 既設アスファルト舗装版を同時に混合する際の舗装版厚が15cm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない場合 (1) 路上路盤再生工の一連作業を即日で施工する場合（急速施工） なお、一連作業とはアスファルト舗装切削工から路上路盤再生工、アスファルト舗装工までの施工である。</p>	<p>⑤ 路上路盤再生工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、スタビライザによる路上混合作業で、混合深さ40cm以下の路上路盤再生工に適用する。 なお、既設アスファルト舗装版を同時に混合する場合の既設アスファルト舗装版厚は、15cm以下とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 養生工は必要に応じて計上する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="492 845 1164 1133"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>破 砕 混 合</td> <td>スタビライザ</td> <td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不 陸 整 正</td> <td>モータグレーダ</td> <td>土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">締 固 め</td> <td rowspan="2">ロードローラ</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) タイヤローラ及び振動ローラ（舗装用）は、賃料とする。</p> <p>4. 編 成 人 員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" data-bbox="627 1228 1030 1284"> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>普 通 作 業 員</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>IV-3-⑤-1</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	破 砕 混 合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1	不 陸 整 正	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	1	締 固 め	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	1	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1	タイヤローラ	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	1	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1	土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員	1	4	<p>千葉県</p> <p>⑤ 路上路盤再生工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、スタビライザによる路上混合作業の路上路盤再生工に適用する。</p> <p>1-1 適用出来る範囲 (1) スタビライザによる混合深さ 40 cm以下の場合 (2) 既設アスファルト舗装版を同時に混合する際の舗装版厚が 15 cm以下の場合</p> <p>1-2 適用出来ない場合 (1) 路上路盤再生工の一連作業を即日で施工する場合（急速施工） なお、一連作業とはアスファルト舗装切削工から路上路盤再生工、アスファルト舗装工までの施工である。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 養生工は必要に応じて計上する。</p> <p>図2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1366 798 2060 1085"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>破 砕 混 合</td> <td>スタビライザ</td> <td>路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不 陸 整 正</td> <td>モータグレーダ</td> <td>土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">締 固 め</td> <td rowspan="2">ロードローラ</td> <td>マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">タイヤローラ (舗装用)</td> <td>搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) タイヤローラ及び振動ローラ（舗装用）は、賃料とする。</p> <p>4. 編 成 人 員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p>表4.1 日当り編成人員 (人/日)</p> <table border="1" data-bbox="1500 1181 1881 1236"> <tr> <td>土 木 一 般 世 話 役</td> <td>普 通 作 業 員</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>IV-3-⑤-1</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	破 砕 混 合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1	不 陸 整 正	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	1	締 固 め	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	1	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1	タイヤローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	1	普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1	土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員	1	4
作業種別	機械名	規格	単位	数量																																																																		
破 砕 混 合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1																																																																		
不 陸 整 正	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	1																																																																		
締 固 め	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	1																																																																		
		普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1																																																																		
	タイヤローラ	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	1																																																																		
		普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1																																																																		
土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員																																																																					
1	4																																																																					
作業種別	機械名	規格	単位	数量																																																																		
破 砕 混 合	スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	台	1																																																																		
不 陸 整 正	モータグレーダ	土工用・ 排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	〃	1																																																																		
締 固 め	ロードローラ	マカダム・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量10～12t	〃	1																																																																		
		普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1																																																																		
	タイヤローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量6～7.5t	〃	1																																																																		
		普通型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 運転質量8～20t	〃	1																																																																		
土 木 一 般 世 話 役	普 通 作 業 員																																																																					
1	4																																																																					